

次世代自動車の技術革新と製造業の未来

～サーキュラーエコノミーからマルチマテリアル

多品種少量生産への対応まで～



第1部：講演

10:00～11:00 次世代自動車とサーキュラーエコノミーの最新動向

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 荒木 克己 氏

11:15～12:15 マルチマテリアル化・異種材接合技術

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 手塚 威 氏

12:30～13:15 お昼休憩

13:15～14:15 機械加工の最新動向・中小企業の対応

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 荒木 克己 氏

14:30～15:30 多品種少量生産の対応

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 中村 真一郎 氏

※各講演後、10分の質疑応答と5分の休憩兼講演準備時間を設けます。

※第一部の各講師へ個別にご質問・ご相談がある企業様向けに、相談会を実施します。

各講師の空き時間に個室にてご相談の場を設けますので、ご希望の企業様は、別途申込フォームにてお申込みください。

詳細な講師略歴はWEBサイト
(QRコード)をご覧ください。



第2部：自動車部品 機能構造研修

15:45～16:45 自動車部品 機能・構造の変遷

自動車部品を展示の上、実部品を用いてプロセスの変遷を解説します。

日時：2026年 10月 28日(水) 10:00～16:45

会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室

(宮城県仙台市泉区明通2丁目2番地)

受講料：無 料

定員：30名(先着順)

お申込み方法：

下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

URL：<https://forms.gle/ua7RGUDd57zkJuHF7>

申込期限：10月23日(金)

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



主催：公益財団法人みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センター

共催：みやぎ自動車産業振興協議会、公益社団法人自動車技術会 東北支部

本事業は、経済産業省 令和8年度自動車部品サプライヤー事業転換支援事業(地域支援拠点運営事業)と連携して実施するセミナーです。

第1部：講演

10:00～11:00 次世代自動車とサーキュラーエコノミーの最新動向

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 荒木 克己 氏

[略歴]]トヨタ自動車(株)トータルソリューション室参事、トヨタ車体(株)海外事業室室長・参事

- [1]自動車を取巻く現状・動向
- [2]電動化
- [3] Software Defined Vehicle
- [4]自動運転
- [5]水素社会化
- [6]CN燃料
- [7]サーキュラーエコノミー
- [8]自動車市場予測



11:15～12:15 マルチマテリアル化・異種材接合技術

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 手塚 威 氏

[略歴]]シロキ工業(株) 第一設計部長、シロキブローゼ株式会社代表取締役、シロキ工業(株)取締役常務執行役員

13:15～14:15 機械加工の最新動向・中小企業の対応

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 荒木 克己 氏

- [1]工程レス化
- [2]小型化・薄肉化・軽量化
- [3]静音化・制振・遮音/吸音
- [4]複合工程・複合素材
- [5]電蝕対応
- [6]サーキュラーエコノミーへの対応方策
- [7]品質向上
- [8]改善提案力向上
- [9]得意分野を研ぎ澄ます

- [1]環境変化
- [2]マルチマテリアル化
 - 2-1. 背景
 - 2-2. マルチマテリアルとマルチマテリアル化
 - 2-3. 国の取組み
 - 2-4. 企業の取組み
 - 2-5. 素材開発の現状
- [3]異種材接合技術
 - 3-1. 技術課題
 - 3-2. 金属の状態図
 - 3-3. 材料特性の影響
 - 3-4. 溶融接合と固相接合
 - 3-5. 接合技術概要
 - 3-6. 主な接合技術の良品条件
 - 3-7. ガルバニック腐食
 - 3-8. 接着技術
 - 3-9. 次世代技術
 - 3-10. 最後に

14:30～15:30 多品種少量生産の対応

講師：株式会社 ティムネット コーディネーター 中村 真一郎 氏

[略歴]]トヨタ自動車(株)田原工場製造部部長、プレス生技部部長、豊臣機工(株)副社長

河田 俊彦 氏



平賀 豪 氏



- [1]多品種少量の社会的意義と企業の対応
- [2]自動車メーカーと部品メーカーの関係の変化
- [3]自動車ボデー部品（多品種少量生産）の課題
- [4]本題：多品種少量生産で利益を確保するために
- [5]生産準備OPとは
- [6]生準企画書とは
- [7]生準中からの原価低減活動が重要
- [8]利益確保のために、ムダを見つける方法
- [9]過去の型費低減策の例
- [10]多品種少量補給ラインの改革の例（可動率向上）
- [11]プレス専用ラインの汎用ライン化
- [12]設備故障の低減
- [13]型トラブルの低減
- [14]多種品の品質不良の撲滅
- [15]プレスー溶接間の中間在庫の持ち方
- [16]多種少量品の溶接品質不良防止
- [17]多品種少量生産の溶接治具・溶接機の仕様
- [18]溶接後の検査の自動化
- [19]営業力が非常に大切

第2部：自動車部品 機能構造研修

15:45～16:45 自動車部品 機能・構造の変遷

～自動車部品を展示の上、実部品を用いて
プロセスの変遷を解説します～

解説員：宮城県産業技術総合センター

河田 俊彦 氏

平賀 豪 氏

（テクニカルプロジェクトコーディネーター）

（技術主査）